

保護者等からの放課後等デイサービス事業所評価の集計結果(公表)

公表:令和 6 年 2 月 9 日

事業所名 子ども発達未来塾 一身田 保護者等数(児童数) 13 回収数 9 割合 69 %

	チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	わからない	ご意見	ご意見を踏まえた 対応
環境・ 体制整備	1 子どもの活動等のスペースが十分に確保されているか	8			1		活動スペースは十分確保されていますが、なるべく密にならないよう配慮しています。
	2 職員の配置数や専門性は適切であるか	5	1		3		職員配置数は適切であり、職員は教員や保育士免許を保持した職員で構成しております。
	3 事業所の設備等は、スロープや手すりの設置などバリアフリー化の配慮が適切になされているか	9					なるべく段差等がないよう配慮しています。
適切な 支援の 提供	4 子どもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、放課後等デイサービス計画*1が作成されているか	9					保護者からの意見を聞き取り、担当者で内容を吟味した上で支援計画を作成しています。
	5 活動プログラム*2が固定化しないよう工夫されているか	9					作業療法や理学療法、児童が楽しんで取り組めるような活動を定期的に行っています。
	6 放課後児童クラブや児童館との交流や、障がいのない子どもと活動する機会があるか	4	1		4		同じ敷地内に放課後児童クラブが併設されているため、イベント以外でも交流はございます。
保護者 への 説明等	7 支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明がなされたか	9					契約時に支援内容や利用者負担等の説明をしているが、ご質問があればその都度説明をさせていただいております。
	8 日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解ができていくか	9					送迎時や連絡帳、LINE等でお伝えしていますが、内容によっては電話で直接お話しさせていただいております。
	9 保護者に対して面談や、育児に関する助言等の支援が行われているか	7			2		お迎え時に様子をお伝えしたり育児に対する助言は行っておりますが、さらに電話等の面談を今後は実施していきたいと考えております。
	10 父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により保護者同士の連携が支援されているか	2	1	3	3		感染症対策の観点から交流の場を設定することが難しい状況にありますが、専門家を交えた茶話会などを定期的に開催していく予定です。
	11 子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知・説明し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか	8			1		苦情・相談受付窓口の詳細については重要事項説明書に明記してあります。また苦情があった場合には事業所内で連携し、迅速に対応しています。内容によっては児童や保護者への説明も行っております。
	12 子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされているか	8			1		LINEや連絡帳お電話等で迅速に情報を伝達するようにしています。
	13 定期的に会報やホームページ等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果を子どもや保護者に対して発信しているか	8	1				今後もInstagramやLINEやホームページなどで定期的に活動状況をお伝えしていきます。
14 個人情報に十分注意しているか	8			1		必要最小限の範囲内で使用しており、重要事項説明書にも明記させて頂いております。	
非常時 等の 対応	15 緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、保護者に周知・説明されているか	7			2		非常時に備え、マニュアルについては全て策定しております。
	16 非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出、その他必要な訓練が行われているか	9					長期休みイベントで定期的に避難訓練は実施しております。
満足 度	17 子どもは通所を楽しみにしているか	8	1				通所を楽しみにして頂けるよう職員一同尽力してまいります。
	18 事業所の支援に満足しているか	9					利用者のみならず保護者様にも満足して頂けるよう職員一同尽力してまいります。

\*1 放課後等デイサービスを利用する個々の子どもについて、その有する能力、置かれている環境や日常生活全般の状況に関するアセスメントを通じて、総合的な支援目標及び達成時期、生活全般の質を向上させるための課題、支援の具体的な内容、支援を提供する上での留意事項などを記載する計画のこと。放課後等デイサービス事業所の児童発達支援管理責任者が作成する。

\*2 事業所の日々の支援の中で、一定の目的を持って行われる個々の活動のこと。子どもの障がい特性や課題、平日/休日/長期休暇の別等に応じて柔軟に組み合わせられて実施されることが想定されている。